

令和元年度

米子市歴史館運営委員会

日 時 令和2年3月25日(水)

午前10時から

ところ 市役所旧庁舎新館 306 会議室

日 程

1 開 会

2 挨拶(文化振興課長)

3 議 事

(1) 委員長・副委員長の選出について

(2) 令和元年度事業報告について

山陰歴史館、福市考古資料館、上淀白鳳の丘展示館

(3) 令和2年度事業計画について

山陰歴史館、福市考古資料館、上淀白鳳の丘展示館

4 その他

5 閉 会

任期：令和元年7月1日～令和3年6月30日

委員氏名	専門学識	備考
岩佐 武彦	地 理 学	再 任
内田 浩文	学 校 教 育	再 任
遠藤 美絵	一 般 学 識	再 任
上村 一也	学 校 教 育	再 任
長谷川 蔦代	一 般 学 識	再 任
前田 宣子	一 般 学 識	再 任
南前 孝明	中 世 史	再 任
森井 由美子	一 般 学 識	再 任
安江 禎晃	社 会 教 育	再 任
渡 邊 健	中 世 文 学	再 任
本 池 優 子	一 般 学 識	新 任

令和元年度

米子市歴史館運営委員会資料

資料目次

米子市立山陰歴史館

令和元年度事業報告

事業名		開催日	入館者数 (人)	内容	
鑑賞事業	常設展	米子城物語、米子の農家の昔の暮らし、昭和の小学校、昔の道具、太平洋戦争中の米子、大山の歴史、人形作家安部朱美氏制作「御幸（御輿行幸）」ほか	9,793	米子の近世から現代までの通史を展示する。常設展示の写真の展示替えをし、来館者によりわかり易い内容となるよう改善した。	
	企画展	館蔵品展Ⅱ 石に刻まれた祈り 2 館蔵品資料より -サイの神-	4/1(月)) 4/21(日)	284	歴史館に寄贈された資料の中から、主に米子市に点在するサイの神を写真と拓本で紹介した。 ※H30.12/9(日)から開催
		第12回 鳥取藩主池田家 墓所 写真コンクール作品展 主催：鳥取県 公益財団法人 史跡鳥取藩主池田家墓所保存会	4/28(日)) 4/29(月)	1,620	鳥取藩主池田家の歴史や墓所の写真を紹介した。
		米子城にまつわる人々	4/28日(日)) 6/30(日)	1,362	国指定史跡米子城跡関連資料を活用し、米子城にまつわる吉川広家、中村一忠、加藤貞泰、荒尾氏などの人物を中心に紹介した。
		刀剣展 「菊水刀 ～伯耆国が育んだ近・現代の名匠 森脇 正孝～」 主催：刀剣・たたら関連事業実行委員会	9/27(金)) 10/6(日)	743	「地元ゆかりの刀剣展」として、鳥取県西部出身で、菊水刀（海軍士官用の軍刀）製作の第一人者であった森脇正孝氏にスポットをあて、森脇氏が作刀した菊水紋入りの刀剣を中心に、地域にゆかりのある刀剣を展示した。
		西伯耆の中世城館 共催：(一財)米子市文化財団[米子市埋蔵文化財センター]	11/10(日)) 令和2年1/26(日)	1,638	西伯耆の中世城館について写真や図などのパネル及び出土品を展示し、中世城館について周知する展示とした。
		とっとり民工芸 in 文化財展 主催：鳥取県 共催：鳥取市・倉吉市・米子市・(公財)鳥取市文化財団[仁風閣]	11/1(金)) 12/1(日)	738	「杉本良巳コレクション」を主とした弓浜緋を展示し、鳥取県の民工芸を紹介した。
		国鉄米子鉄道管理局発足からJR西日本米子支社の70年をたどる 協力：西日本旅客鉄道株式会社米子支社、日本貨物鉄道株式会社関西支社岡山支店米子営業所、ジェイアール西日本商事株式会社米子支店、鉄道の街・米子の鉄市実行委員会	令和2年2/9(日)) 2/29(土)	1,028	昭和25年に米子鉄道管理局が設置されてから70年を迎えることを記念し、館蔵の鉄道資料や写真を中心に紹介し、米子の近代化を支えた鉄道の歴史を展示した。また、鉄道の街・米子の鉄市実行委員会の協力を得て、Nゲージや鉄道おもちゃの体験コーナーを設置し、子どもから年配の方まで幅広い年代の方に楽しんでもらえる内容とした。※3月29日(日)まで開催。
	ロビー展	米子市美術館「北原照久コレクション・安部朱美創作人形展」連携事業 昭和の教室	4/27(土)) 6/2(日)	[★] 米子市美術館「北原照久コレクション・安部朱美創作人形展」と連携し、館蔵品の中から昭和時代を中心とした教育に関する資料を展示した。	
	連携事業	鳥取県 聖火ランナー写真展 展示協力：鳥取県立公文書館 鳥取県立図書館 鳥取市歴史博物館	9/7(土)	[385] 米子市公会堂「米子なつかしの名画劇場」と連携し、昭和39年に鳥取県内を走った聖火ランナーの写真及び地図を米子市公会堂ホワイエに展示した。	

事業名		開催日	入館者数 (人)	内 容
鑑賞事業	平成31年度文化庁文化芸術振興補助金(文化遺産総合活用推進事業) 第17回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2019参加事業とっとり県民カレッジ参加事業/第75回米子市秋の文化祭参加事業 米子市立山陰歴史館・米子市文化ホール連携事業 第八回 米子歴史絵巻 「鳥取県指定無形民俗文化財下蚊屋の荒神神楽」 共催：米子市、米子市教育委員会	10/27(日)	359	米子市指定史跡である清洞寺跡を活用して、鳥取県指定無形民俗文化財の下蚊屋の荒神神楽を上演した。
	展示室講座「新発見資料の紹介！西郷隆盛の手紙 × 鳥取の明治維新」	6/2(日)	27	横山展宏氏(鳥取市歴史博物館学芸員)を講師に迎え、企画展「米子城にまつわる人々」関連事業として実施し、展示資料について詳しく学ぶ機会を提供した。
教育普及事業	講演会 「毛利・尼子戦争と西伯者の国衆」	6/15(土)	80	岡村吉彦氏(鳥取県史編さん室室長)を講師に迎え、企画展「米子城にまつわる人々」関連事業として実施し、西伯者の国衆について学ぶ機会を提供した。
	館長講座『陰徳太平記』を読む	9月1日(日)・9月8日(日)・10月6日(日)	57	国田 俊雄(山陰歴史館館長)を講師として、『陰徳太平記』を読み解き毛利氏と尼子氏の歴史について学ぶ機会を提供した。
	刀剣居合演武 主催：刀剣・たたら関連事業実行委員会	9/28(土)・9/29(日)	[★]	刀剣展「菊水刀 ～伯耆国が育んだ近・現代の名匠 森脇 正孝～」関連事業として、中田利幸氏(全日本居合道連盟鳥取県支部長 無双直伝英信流)による刀剣居合演武を鑑賞する機会を提供した。
	第46回郷土の歴史教室「山陰のお城めぐり」 共催：米子錦ライオンズクラブ、米子市、米子市教育委員会	8/2(金)	23	市内小学生4～6年生を対象に米子城、松江城、月山富田城の歴史を現地で学ぶ機会を提供した
	民俗芸能フォーラム「若者と民俗芸能」 主催：鳥取県	令和2年2/23(日)	23	鳥取県文化財課が主催で、県西部の伝統芸能の周知と、様々な問題について討論するフォーラムを開催した。
	民話のへや 共催：ほうき民話の会	通年	93	地方に残る方言で語られる昔話を楽しむ機会とした。(奇数月開催) 学芸員が歴史館資料や調査資料の解説を行った。
	学校・公民館対応など 出前講座・出前授業	10月17日(木) 2月20日(木)	32	統括学芸員による車尾公民館への出前講座/11人 統括学芸員による五千石小学校3年生への出前授業/21人
	体験学習受け入れ	通年	[1063]	米子市内外の小学校3年生・4年生を受け入れた。小学校19校
	博物館実習・職場体験受け入れ	通年	[7]	博物館実習4件/4人・職場体験2件/3人
	米子市文化財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル 協力：鳥取市教育委員会	10月5日(土)	[参加人数備考欄記載]	財団の管理・受託施設が連携をし、事業を行った。 参加者：2037人(内山陰歴史館ブース「石垣つめる君に挑戦！」参加者46人)

事業名		開催日	入館者数 (人)	内 容
教育普及事業	米子市文化財団連携事業 わたを育てよう「第4回 わたが布になるまで」	11/17(日)	41	米子市児童文化センターと連携をし、館蔵資料を活用し事業を行った。
	ワークショップ 「糸繰り・種取り・機織り体験」	11/3(日), 11/4(月・祝), 11/9(土), 11/10(日), 11/16(土), 11/17(日), 11/23(土), 11/24(日), 11/30(土), 12/1(日)	[★]	企画展「とっとり民芸in文化財展」関連ワークショップとして、弓浜緋保存会による種取り、糸繰り、機織り体験の場を提供した。
	資料の保存・活用	調査・整理・研究・保管	通年	資料の調査・整理・研究をし、その成果を発表した。 資料の目録作成を行った。
	鳥取県史編さん事業 古文書解読ボランティア月例会 共催：鳥取県立博物館	通年	74	鳥取県史編さん資料解読の事業支援を行った。
	資料貸出	通年		資料の貸出。46件/227点
	情報提供	ホームページ・Twitterの更新	通年	歴史・資料の紹介やイベント情報の提供などを行った。
		問合せ対応	通年	米子市史などの問合せに対応し、情報の提供を行った。
	図書等販売	企画展図録の発行など	通年	委託図書・図録・紀要などの販売を行い収入の一助とした。
	受託事業	皆生温泉素鳳ふるさと館展示業務	通年	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会より受託し、皆生温泉素鳳ふるさと館展示業務を行った。年4回の展示替えを実施した。
	合 計		令和元年度	18,015

[★]は常設展または企画展の観覧者数に含まれる

令和2年度 米子市立山陰歴史館事業計画書

1 基本方針

(1) 個性あふれる利用しやすい施設づくり

米子市指定文化財である米子市役所旧庁舎の歴史的景観や価値の情報発信を行うとともに、中心市街地に所在するという立地条件を生かし、郷土の歴史文化に興味関心を持つ市民や観光客が集える場の提供を行う。

(2) 郷土の歴史・民俗資料を中心とする整理、調査研究、保管活用の充実

所蔵資料の体系的な整理を行い、事業企画や情報発信に活用できる研究成果の積み重ねに努める。また、継続的に歴史・民俗資料を収集し、所蔵資料の充実を図るよう努める。

(3) 子どもたちに地域の歴史への興味と関心をもたせる展示や活動に努める。

2 重点施策

(1) 山陰歴史館所蔵の資料整理及び調査研究、資料活用の推進

資料整理や研究に取り組み、その成果を常設・企画展示事業に反映させ、魅力ある展示事業や新しい情報を提供するよう努める。また、企画展の『図録』発行を継続して行うことで、調査研究成果の蓄積を図る。

(2) 県内博物館施設及び周辺各団体との協働事業の推進

ほうき民話の会・米子下町観光ガイド、弓浜緋保存会、鳥取県ミュージアム・ネットワークに加盟する歴史関連施設などとの協力・協働をとおして、企画展示事業の充実を図るとともに発表の場の提供及び体験型参加事業、教育普及事業の実施などを行う。

(3) 利用者サービスの向上

郷土の歴史に関する問合せや、米子市史関連資料及び館蔵資料の閲覧・貸出などに随時対応し、郷土の歴史に係る情報の提供や情報交換の場の提供を行う。

(4) 財団内で連携した事業展開

当財団の各専門分野の職員間で連携し、幅広い事業展開を行う。

(5) 歴史館の館蔵資料の貸出や、出前講座の実施

地域で米子の歴史にふれる機会の提供を行う。

3 主要事業

区分	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考
鑑賞事業 [常設展]	米子城展、昔の暮らし展 ほか	国史跡米子城跡や、近現代の歴史をとおして、郷土の人々の暮らしの様子を紹介する。 入場料無料 (6,700人)	通年 随時展示替	
[企画展]	企画展 米子市役所旧館90年の歩み (仮称) 担当：笹尾	2020年に開館90年を迎える米子市役所旧館(現山陰歴史館)の歴史を紹介するとともに、米子に残る近代化遺産も併せて紹介する。 入場料300円(1,400人)	4月26日(日) ～ 7月5日(日) (予定)	※7月1日開館記念日
	館蔵品展Ⅰ	寄贈された資料を紹介する。 入場料無料(600人)	7月19日(日) ～ 9月27日(日)(予定)	
	企画展 開湯120年記念 皆生温泉の歴史(仮称)	2020年、開湯120年を迎える皆生温泉の歴史を、写真や関連資料で紹介する。 入場料300円(1,400人)	10月11日(日) ～ 11月29日(日) (予定)	関連事業として講演会・現地ウォークを実施(予定)
	企画展 郷土のたたらと刀剣の歴史(仮称)	米子市やその周辺のたたらと、刀剣の歴史を関連資料や写真で紹介する。 入場料300円(500人)	12月13日(日) ～ 12月27日(日) (予定)	共催：米子市埋蔵文化財センター
	企画展 大山寺周辺の石造物 3～石塔・石仏～	大山信仰や大山寺に関連した石造物の写真資料を展示紹介する。 入場料300円(800人)	2021年 2月14日(日) ～ 3月28日(日)	関連事業として講座を実施(予定)

区分	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考
[企画展]	皆生素鳳ふるさと館展示事業	年間4回、季節やテーマに沿った内容で、素鳳コレクションを中心に紹介する。 入場料無料	令和2年度中	場所：皆生素鳳ふるさと館
[連携事業]	第9回米子歴史絵巻「因幡の麒麟獅子舞・因幡の傘踊り」	国史跡上淀廃寺跡で、因幡の麒麟獅子舞と因幡の傘踊りを公演し、史跡の周知と文化遺産普及の契機とする。入場料無料(250人)	9月20日(日)	共催：米子市文化ホール 協力：彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会(予定)、(株)白鳳[上淀白鳳の丘展示館](予定)
教育普及事業	講演会	企画展「米子市役所旧館90年の歩み(仮称)」関連の講演会を実施する。 入場料無料(70人)	未定	場所/米子市文化ホール展示室 講師：米子工業高等専門学校名誉教授 和田嘉宥氏
	講演会	企画展「大山寺周辺の石造物(仮称)」関連の講演会を実施する。 入場料無料(70人)	未定	場所/講師：未定
	講座	歴史資料を読み解きながら、郷土の歴史を学ぶ機会を提供する。 参加料無料(50人×3回)	未定	場所/未定 講師：山陰歴史館館長 国田俊雄
	現地ウォーク	企画展「米子市役所旧館90年の歩み(仮称)」関連の現地ウォークを実施する。	2020年10月頃	
	第47回郷土の歴史教室	子どもたちに郷土の歴史を知る機会の提供を図る。 参加料有(30人程度)	未定	共催：米子錦ライオンズクラブ、米子市教育委員会
	民話のへや	民話語りと歴史館資料の紹介・解説を行う。	通年	共催：ほうき民話の会
	学校・公民館対応など	郷土の歴史への知識を深める機会を提供する。	申込随時	
	学校への出前講座	郷土の歴史への知識を深める機会を提供する。	通年	
	館内体験学習 学芸員研修受入	社会科校外学習受入など。	申込随時	

区分	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考
	当財団施設連携事業	米子市と協力して、財団の管理・受託する施設が連携して事業を実施する。	未定	
教育普及事業	資料の調査・整理・研究・保管	資料の調査研究の成果を『歴史館紀要』に発表する。	通年	
[資料の保存・活用]	資料貸出	素鳳コレクションの貸出や学習資料などの貸出を行う。	通年	
	古文書解説	古文書解説の学習の場の提供と解説者の育成を図る。	通年	共催： 鳥取県立博物館
[情報提供]	問合せ対応	県内外からの問合せに対応し、歴史情報を提供する。	随時	
	歴史館だよりの発行	歴史館の展示情報などを提供する。	随時	
	ホームページ	展示事業の紹介・更新をする。	随時	
	友の会の運営	会の運営の手助けを行う。	随時	共催： 歴史館友の会
	図書等販売	委託図書などの販売を行う。	通年	

令和元年度

米子市歴史館運営委員会資料

資料目次

米子市福市考古資料館

及び埋蔵文化財センター

令和元年度 米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館の事業報告

1 管理 指定管理者 一般財団法人米子市文化財団

(1) 職員配置

米子市埋蔵文化財センター 館長1名 学芸員1名(兼務) (補助として一財・米子市文化財団埋蔵文化財調査室事務員1名が兼務)

米子市福市考古資料館 館長1名(兼務) 学芸員1名(兼務) 受付管理員2名(交代制)

在職者名簿

米子市埋蔵文化財センター		米子市福市考古資料館	
館長	小原貴樹(調査室兼務非常勤)	館長	小原貴樹(調査室兼務非常勤)
学芸員	高橋浩樹(調査室兼務)	学芸員	高橋浩樹(調査室兼務)
学芸員補助	小原貴樹(調査室兼務非常勤)	受付員	木下 和則(臨時職員)
事務補助	田中昌子(調査室兼務非常勤)	受付員	門脇 威(臨時職員)

4 令和元年度 埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業計画方針

(1) 基本方針

- ①埋蔵文化財センターと福市考古資料館の基本機能の充実と良好な管理を図る。
- ②原始・古代への関心を高める為の福市考古資料館の管理の充実を図る。
- ③史跡環境を活かした福市考古資料館と埋蔵文化財センターの事業地涌実を図る。
- ④情報発信とネットワーク化の推進を図る。

(2) 重点施策

①原始・古代史の歴史を学ぶ機会の提供

ア. 米子市等の考古資料を展示する常設展・企画展を開催し、原始・古代への関心を高める。イ. 講座や外部講師による講演会の実施によって原始・古代への興味と関心を高める。ウ. 市内外の史跡のガイドウォークの実施によって郷土の歴史への興味と関心を高める。エ. 体験教室・出前講座をとおして、「見て」「触れて」「作って」原始・古代への興味・関心を高める。

②埋蔵文化財資料の整理・保管・調査研究

ア 米子市の埋蔵文化財の出土品や記録類の適切な整理・保管・調査研究を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く活用できるよう努める。イ 未報告資料や寄贈資料を整理し、整理報告書として刊行に努める。

③情報の発信

ア 発掘調査や研究の成果をふまえ、米子市等の原始・古代史の最新情報を発信する。
イ 遺跡情報をわかりやすいシートやリーフレットにして発信する。

④連携事業の促進

ア より多くの人に関心を持ってもらうために、当財団の各施設をはじめ、歴史関係施設との連携事業に努め、企画展等を開催する。
イ 山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、むきばんだ史跡公園との連携に努める。
ウ 鳥取県ミュージアムネットワークへ加盟して、県内施設との連携に努める。
エ 米子市の米子城跡などの史跡活用事業との連携協力に努める。

II 令和元年度実施事業の概要

1 展示事業

- (1) 埋蔵文化財センター常設展「米子の遺跡と発掘」
期 間 平成31年4月1日～令和元年2月29日
担当者 高橋浩樹 小原貴樹 観覧者 (1,178人)
- (2) 福市考古資料館常設展示「米子の原始・古代」
期 間 平成31年4月1日～令和元年2月29日
担当者 高橋浩樹 小原貴樹 観覧者 (254人)
- (3) 福市考古資料館企画展示「古代の米子」
期 間 令和元年10月10日～12月2日
担当者 高橋浩樹 小原貴樹 観覧者 (267人)
- (4) 連携企画展「西伯耆の中世城館」
期 間 令和元年11月10日～1月26日
担当者 高橋浩樹 観覧者 (1,638人)
場 所 米子市立山陰歴史館



福市考古資料館企画展



山陰歴史館連携企画展

2 教育普及事業

- (1) 「成実地区史跡ガイドウォーク」
実施日 5月25日(土) 参加者 (22人)
場 所 石井要害跡ほか 担当 高橋浩樹
- (2) 第1回考古学講演会
テーマ 「山陰の古代の役所」
講 師 米子市分化振興課 平山晃基氏
場 所 米子市文化ホール研修室
実施日 9月21日(土) 参加者 (37人)
担 当 佐伯純也 高橋浩樹
- (3) 考古学講演会2
テーマ 「上淀廃寺の歴史入門」
講 師 上淀白鳳の丘展示館 井上玲美氏
場 所 米子市文化ホール研修室
実施日 10月27日(日) 参加者(22人)
担 当 佐伯純也 高橋浩樹
- (4) 考古学講演会3
テーマ 「古代の郡役所と生産遺跡」
講 師 鳥取県埋蔵文化財センター 坂本嘉和氏
場 所 米子市文化ホール研修室
実施日 11月25日(土) 参加者 (25人)
担当 佐伯純也 高橋浩樹



史跡ガイドウォーク



考古学講演会1



考古学講演会3

(5) 考古学教室

①内 容 「古代人になろう」 場 所 福市考古資料館 担当 門脇 威
実施日 8月10日(土) 参加者(4人)

(6) 出前講座・ガイド・古代体験学習

①米子市なかよし学級へ出前講座 (米子市文化振興課共催)

「勾玉づくり体験」のみを実施した。

7月24日(水)	就将なかよし学級	32人	7月25日(木)	車尾なかよし学級	40人
7月29日(月)	河崎なかよし学級	33人	7月30日(火)	尚徳なかよし学級	34人
7月31日(水)	福生東なかよし学級	33人	8月1日(木)	明道なかよし学級	21人
8月2日(金)	彦名なかよし学級	24人	8月5日(月)	大篠津なかよし学級	16人
8月6日(火)	和田なかよし学級	24人	8月7日(水)	箕蚊屋なかよし学級	29人
8月8日(木)	加茂なかよし学級	28人	8月9日(金)	伯仙なかよし学級	30人
8月21日(水)	義方なかよし学級	33人			

合計 13学級 参加者 376人

(7) 連携事業

①米子市文化財団連携

ア「公会堂夏祭り」出前 「勾玉づくり」

場 所 米子市公会堂実施日 8月17日(土)
担当 小原貴樹 秦美香 参加者 (25人)

イ米子市文化財団フェスティバル

①「さむらいをやっつけろ」

場 所 米子市湊山野球場(米子城跡三の丸広場)
実施日 10月5日(土) 参加者(435人)
財団フェスティバル全体来場者(2,037人)



米子市文化財団フェスティバル

3 情報発信事業

(1) 埋蔵文化財センターたよりの発刊

発掘調査の情報、遺跡紹介など年4回の
発行を行った。(第33号~36号)

(2) ホームページ等での発信

施設情報や行事情報、周辺の遺跡紹介をイン
ターネットに掲載し情報発信した。行事をチ
ラシ、ポスターで情宣した。



資料利用(歯石調査)

4 調査研究・整理・収蔵保管事業

(1) 調査研究

歴史館旧蔵資料、米子城資料などについて
調査を実施した。

(2) 整理収納保管作業

- ① 遺物の整理及び収納保管 寄贈や過去の調査資料などの、整理し収納した。
- ② 写真記録のデジタル化 ③発掘調査写真類のデジタル化を行った。
- ④ 書籍整理保管、寄贈図書について整理した。

5 資料館・センター利用事業

(1) 施設利用

① 学校利用

- ア 尚徳小学校3年生の古代学習を受入れ
実施日 6月19日(火) 児童ほか(28人)
6月27日(水) 児童ほか(28人)
- イ 車尾小学校へ古代学習を出前
実施日 7月30日(月) 児童ほか(60人)



車尾小学校の古代学習

(2) 地域利用

- ① P A J A学童保育の小学生「勾玉づくり」
実施日 8月7日(水) 児童ほか(8人)
- ② むきばんだボランティア研修 講師 小原貴樹
実施日 11月9日(木) (24人)
- ③ のこのリーフの古代体験 講師 門脇 威
実施日 10月19日(木) ほか 参加者(12人)
- ④ 南部地区公民館研修 講師 小原貴樹
実施日 11月20日(日) 参加者(44人)



南部地区公民館研修

(3) 研究会・講座利用

- ①山陰中世考古学研究会 山陰他の研究者が集まり、第2回山陰中世考古学研究会が開催された。開催日 12月7日(土) 参加者(19人)

(4) 職場体験受け入れ

インターンシップで米子松蔭高校、米子南高校の生徒を職場へ受け入れた。

(5) 資料利用 (別紙一覧表)

①収蔵品・資料の貸出利用

八雲立つ風土記の丘、古代出雲歴史博物館、白鳳の丘展示館等へ収蔵品を貸し出した。併せて写真資料の提供を行った。

⑤ 収蔵品実測・熟覧等の利用件数

広島大生、島根大生、大阪城博物館、個人研究者などが来館し、収蔵資料の実測、調査、閲覧等の利用があった。

③図書の閲覧・貸出利用

市民、研究者などによる収蔵の調査報告書や考古学研究刊行物の貸出・閲覧があった。

米子南高生のインターンシップ

6 業務日誌抄録

- 4月18日(木) 上淀廃寺壁画原画を展覧会のため白鳳へ搬出した。
- 4月26日(金) 大村雅夫氏寄贈の多量の考古図書・書架を搬入した。
- 5月10日(金) 倉吉市開催の鳥取県ミュージアムネットワーク総会へ小原館長が参加した。
- 5月17日(金) 弥生時代研究で元大阪市財団の京嶋氏来館した。
- 5月25日(土) 「成実地区史跡ガイドウォーク」を開催した。
- 6月11日(火) 杉谷氏が陰田36号墳鉄剣調査で来館し調査した。
- 6月20日(木) 出雲弥生の森博物館の高橋氏が須恵器調査で来館した。
- 6月21日(金) 落雷で自火報器等が故障し、2階学習室が雨漏りした。
- 6月25日(火) 尚徳小学校2年生が生活科学習で来館された。
- 7月3日(木)～5日(金) 米子南高校の生徒3名がインターンシップで遺物整理をした。
- 7月6日(土)～7日(日) 島根大学岩本准教授他が米子出土の鉄器の調査で来館された。
- 7月17日(水) 荒神谷博物館学芸員が借用資料の縄文土器返却で来館した。
- 7月24日(水) なかよし学級への出前講座「勾玉づくり」を開始し、8月21日まで出前した。
- 7月31日(水) 伯耆町越敷山調査関係遺物を伯耆町へ返還運搬した。
- 8月6日(火) 風土記の丘資料館の今井学芸員が祭祀遺物調査で来館された。
- 8月10日(土) 山陰中世考古学会準備会が開催された。
- 8月19日(月)～27日(火) 京都大学生式田氏が卒論調査で来館調査された。
- 8月20日(火) 国立歴史民俗博物館藤尾教授他が人骨の調査で来館された。
- 8月29日(木) 風土記の丘資料館の今井氏が祭祀遺物借用で来館された。
- 8月2日(月) 出雲弥生の森博物館の高橋氏が須恵器の転用硯調査で来館された。
- 9月10日(火) 東大の植田教授が人骨の歯石調査で来館された。
- 9月18日(水) 愛媛大学の幸泉准教授が目久美遺跡出土石器調査で来館された。
- 10月2日(月) 出雲市の幡中氏が縄文土器調査で来館された。
- 10月6日(日) 北陸学院大学の小林教授が竈、支脚の調査で来館された。
- 10月10日(木) 福市考古資料館企画展示「古代の米子」開会した。
- 11月9日(木) 「むきばんだボランティアガイドの会」へ研修講師を派遣した。
- 11月10日(日) 連携企画展「西伯耆の中世城館」を山陰歴史館で開会した。
- 11月18日(月)～20日(水) 東大の植田教授ほか2名が人骨歯石調査で再来館された。
- 11月20日(日) 南部地区公民館研修が施設視察と遺跡学習として開催された。
- 12月7日(土) 第2回山陰中世考古学研究会が研修室で開催された。
- 12月18日(水) 大阪歴史博物館の寺井氏が須恵器調査で来館された。
- 1月10日(金) 風土記の丘の今井学芸員が祭祀資料の返却で来館された。
- 1月14日(火) むきばんだ史跡公園の森藤文化財主事が写場を利用した。
- 1月27日(月) 妻木晩田史跡公園の高尾係長が土器調査で来館された。
- 2月5日(水) 荒神谷博物館の高木学芸員が縄文土器調査で来館された。
- 2月20日(木) 松江市の柳浦氏が渡り上り遺跡の縄文土器調査で来館された。
- 3月12日(木) 古代出雲博物館学芸員が石州府古墳出土の鉄器調査で来館された。

令和元年度米子市埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業実績一覧

2020年2月29日 現在

事業名	日時	人数	件	内 容
福市考古資料館常設展	通年	1,178	1	米子の遺跡・遺物の展示
福市考古資料館企画展	10/10～12/2	267	1	「古代の米子」
埋蔵文化財センター常設展	通年	245	1	「米子の遺跡と発掘」
史跡ガイドウォーク	5/25	20	1	成実地区史跡ガイドウォーク
考古学講演会①・②・③	9/21 ほか	84	3	専門研究者を招聘して開催した。
考古学教室「古代人になう」	8/10	4	1	火起こし、玉造り等の体験学習
連携企画展「西伯耆の中世城館」	11/10～1/21	1,638	1	西伯耆の中世城館資料の展示
出前講座(なかよし学級)	7/23 ほか	376	20	淀江なかよし学級ほかへ出前
出前講師派遣	4/16 ほか	111	3	むきばんだガイド、伯耆文化研究会 成実ふれあい大学へ派遣
文化財団施設連携事業	10/7 ほか	2,062	2	米子市文化財団フェスタ 公会堂夏祭り
学校連携古代学習	6/19 ほか	56	3	尚徳小3年生、車尾小6年生
地域利用	8/7 ほか	64	3	P A J A学童保育、このこのリーフ 南部地区公民館研修会
研究会利用等	12/7 ほか	28	2	山陰中世考古学研究会ほか
職場体験	7/3 ほか	9	1	高校生インターンシップ
学校利用等	4/23 ほか	149	3	五千石小ほか
収蔵品資料貸出利用	7/1 ほか	8	8	荒神谷博物館館ほか
収蔵品実見等研究利用	6/11 ほか	47	26	学生卒論、博物館、大学他
図書閲覧・貸出	4/10 ほか	15	15	105冊
センターたよりの発行	6/28 ほか	—	4	第33号～36号
刊行物の発刊	3/31 見込	—	3	年報ほか
計		6,361 (3,700)	102	共催・連携事業を含む ()内他団体連携事業

令和2年度 埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業計画書

1 基本方針

- (1) 埋蔵文化財センターの基本機能の充実と良好な管理を図る。
- (2) 福市考古資料館の展示機能の充実と良好な管理を図る。
- (3) 史跡環境を生かした福市考古資料館と埋蔵文化財センターの事業の充実を図る。
- (4) 情報発信とネットワーク化の推進を図る。

2 重点施策

- (1) 原始・古代史を学び郷土の歴史への関心を高める。
 - ① 米子市等の考古資料を展示する常設展・企画展を開催し、原始・古代・中世への関心を高める。
 - ② 講座や外部講師による講演会の実施によって原始・古代・中世への興味・関心を高める。
 - ③ 市内外の史跡のガイドウォークの実施によって郷土の歴史への興味・関心を高める。
 - ④ 体験教室・出前講座をとおして、「見て・触れて・作って」原始・古代への興味・関心を高める。
- (2) 埋蔵文化財資料の整理・保管・調査研究
 - ① 米子市の埋蔵文化財の出土品や記録の適切な整理・保管・調査研究を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く市民が活用できるよう努める。
 - ② 未整理資料や寄贈資料を整理し、整理報告書として刊行に努める。
- (3) 情報の発信
 - ① 発掘調査や研究の成果をふまえ、米子市等の原始・古代史の最新情報を発信する。
 - ② 遺跡の情報をわかりやすいシートやリーフレットにして発信する。
- (4) 連携事業の促進
 - ① 多くの人々に関心を持ってもらうために、当財団の各施設をはじめ、歴史関係施設との連携に努め、企画展などを共催する。
 - ② 米子市、山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、むきばんだ史跡公園との連携に努める。
 - ③ 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟して、県内施設との連携に努める。
 - ④ 米子市の米子城跡などの史跡活用事業との連携協力に努める。

自主事業計画書（令和2年度）

	事業名	目的・内容	実施時期・回数
展 示	常設展示 「米子の原始・古代」 (福市考古資料館)	米子市内の遺跡から出土した、代表的な考古資料や写真パネルを展示し、小学生から一般市民まで幅広く原始・古代の米子の歴史を学習する機会を提供します。観覧無料	通年 ・随時一部展示替えを行う
	企画展示 「西伯耆の発掘史」 (福市考古資料館)	県西部の発掘調査の歴史をパネルで紹介するとともに、遺跡から出土した資料を展示して、発掘の歴史と成果を振り返る。観覧無料	年1回 10月7日(水)～ 12月7日(月)
	常設展示 「米子の遺跡と発掘調査」 (埋蔵文化財センター)	米子市内の遺跡から発掘された出土品の展示と、発掘調査の方法を通して、米子の原始古代の歴史や文化財保護への理解を深める展示を行う。観覧無料	通年 ・随時一部展示替えを行う
教 育 普 及	連携企画展示 「郷土のたたらと刀剣の歴史」 (埋蔵文化財センター)	米子市周辺のたたらと、刀剣の歴史を関連資料や写真で紹介する。 共催 ・山陰歴史館 観覧料 300 円	年1回 12月13日(日) ～12月27日(日)
	史跡ウォーク 「車尾・観音寺を歩く」 (埋蔵文化財センター)	貴布禰神社や慈眼庵、水道記念館、戸上城跡等の車尾・観音寺の史跡を探訪して巡る。 資料代 100 円	年1回 6月21日(日)
	考古学講演会第1回 「西伯耆の城跡」 (埋蔵文化財センター)	西伯耆の城跡について、その歴史と様子を解説する講演会を行う。 定員 50名 資料代 100 円	年1回 9月19日(土) 予定
	考古学講演会第2回 「尾高城跡について」 (埋蔵文化財センター)	尾高城跡について、その歴史や発掘調査で分かった遺構や遺物について講演会を行う。 定員 50名 資料代 100 円	年1回 10月10日(土) 予定
	考古学講演会第3回 「米子城跡について」 (埋蔵文化財センター)	米子城跡について、その歴史や発掘調査で分かった遺構や遺物について講演会を行う。 定員 50名 資料代 100 円	年1回 11月28日(土) 予定

教育普及	考古学教室第1回 「古代人体験」 (福市考古資料館)	小学生を対象とした考古学教室として、弓矢体験、火起こし体験、勾玉づくりをコースにして体験教室を開催する。 定員 15名 参加費 300円	年1回 夏休み中 8月8日(土)
	考古学教室第2回 「古代人体験」 (福市考古資料館)	小学生を対象とした考古学教室として、弓矢体験、火起こし体験、勾玉づくりをコースにして体験教室を開催する。 定員 15名 参加費 300円	年1回 夏休み中 8月9日(日)
	勾玉・石包丁・ 火起こし体験 (福市考古資料館)	勾玉作り等を希望する来館者に指導して体験してもらう。 材料代 有料	随時受付
	出前講座	学習や古代体験を希望する学校・公民館などへ出向き、実物の土器や石器などを持参して、米子の歴史や遺跡についての解説を行う。また、勾玉作り、火起こし等古代体験を出前する。 講師料 500円 材料代 有料	随時
	当財団施設連携事業	米子市と協力して、当財団の管理・受託する施設と連携して事業を実施する。	実施日 未定
調査研究	資料の調査・研究・保管・管理・貸出	埋蔵文化財センターに収蔵されている発掘調査で出土した考古資料や、寄贈された資料の調査・研究・保管・管理・貸出・資料見学への対応業務を行う。	随時
情報発信	「米子市埋蔵文化財センターたより」などの発刊	発掘調査の情報、収蔵品の紹介や埋蔵文化財センター、福市考古資料館行事などの情報提供を行い、普及や研究印刷物の発行を行う。	たより年4回 普及書随時
	施設・行事情報の提供	ホームページやチラシ・ポスターなどを活用した施設情報の提供を行う。	随時
連携	連携の促進	米子市文化振興課や山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、むきばんだ史跡公園などと連携をして行事や展示を行う。	随時

令和元年度

米子市歴史館運営委員会資料

資料目次

上淀白鳳の丘展示館

平成31年度 上淀白鳳の丘展示館事業報告

R2. 2月29日現在

1 入館者及び自主事業観覧・参加者数一覧

区分	一般 (個人・団体・その他)	高校 大学生	中学生 以下	計(人)	自主事業観覧 参加者	その他事業 (出前事業・出 前講座)	合計(人)
入館者数	2,467	83	363	2,913	2,219	201	5,333

2 実施事業内容

	事業名	開催日	人数(人)	内容
常設	常設展並びに上淀廃寺ガイダンス棟の展示	通年	2,913	常設展では、米子市淀江町の古代から白鳳期までの歴史を考古資料で解説展示し、ガイダンス棟では国史跡上淀廃寺跡出土の壁画・塑像の展示及び復元壁画の展示を観覧いただいた。
	館内及び周辺史跡ガイド案内	通年	1,164	館内ガイド及び周辺史跡(向山古墳群・上淀廃寺跡・石馬)のガイドを積極的に行った。
企画展	ミニ企画展 上淀廃寺復元壁画の原画展 主催:上淀白鳳の丘展示館	4/27(土) 5/6(月)	234	国史跡「上淀廃寺跡」より出土した壁画片「説法図」「仏像の背景図」を当時の技法・顔料で復元した彩色仏教壁画の原画を紹介した。
	2016-2018 彼岸花の里俳句大会・彼岸花のある風景フォトコンクール受賞作品展 主催:彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会・上淀白鳳の丘展示館	9/15(日) 10/14(月・祝)	291	2016-2018までの俳句と写真コンクール入選作品を一堂で紹介した。
	2019 彼岸花の里俳句大会・彼岸花のある風景フォトコンクール応募・受賞作品展 主催:彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会・上淀白鳳の丘展示館	11/23(土・祝) R2.1/13(月・祝)	95	2019年度に投句された俳句とフォトコンクールに応募された作品を紹介した。
彼岸花の里づくりプロジェクト事業	彼岸花の植栽事業 主催:彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会・上淀白鳳の丘展示館	5/29(水) 5/31(金) 6/9(日)	① 44 ② 19	①市民にボランティアを募り約3,000個の彼岸花を植栽した。 ②米子市大和保育園の園児、鳥取県立白鳳高校の生徒による植栽事業を行った。
	第4回 彼岸花まつり 主催:彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会・上淀白鳳の丘展示館	9/18(水) 9/24(火)	【約2,000】	淀江地域の活性化と国史跡「上淀廃寺跡」の史跡活用を兼ね、彼岸花の見ごろにマルシェやコンサートなどを開催した。
	第4回 彼岸花の里俳句大会 主催:彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会・上淀白鳳の丘展示館	9/18(水)	22	彼岸花を題材に俳句大会を開催した。(応募句:73作品)
	第4回 彼岸花のある風景フォトコンクール 主催:彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会・上淀白鳳の丘展示館	9/15(日) 10/10(木)	38	淀江町内に咲く彼岸花のある風景の写真の募集を行った。(応募作品67作品)
	色いろりろ彼岸花! 「ぬり絵とお絵かきに挑戦」&「オリジナルの絵の缶バッジ・缶マグネットづくり」 主催:彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会・上淀白鳳の丘展示館	9/22(日) 9/23(月・祝)	12	自作のオリジナル缶バッジづくりなどを行った。
	色とりどりの花を咲かそう!「ハスの花托&モミジ葉フウのオブジェづくり」 主催:彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会・上淀白鳳の丘展示館	9/22(日) 9/23(月・祝)	2	ハスの花托など植物の実を利用したオブジェづくりのイベントを行った。
集資料事業	米子市淀江町の昔を伝える古写真を集めています。	通年	【10点】	個人宅に残る古い写真の資料収集を行い、活用する目的で実施した。
啓発・情報発信事業	祖父母から孫へ伝えたい工作 麦わらの虫かご 主催:上淀白鳳の丘展示館	8/3(土)	72	夏休みの体験学習として、昔から伝わる虫かごづくりのイベントを行った。
	上淀廃寺復元仏像の前で聴く怖い話 主催:上淀白鳳の丘展示館	8/17(土)	16	夏休みの体験学習として、展示館ガイダンス棟を活用した、昔話のイベントを行った。
	上淀廃寺跡で夏空の星を楽しもう! 主催:上淀白鳳の丘展示館	8/23(金)	15	国史跡上淀廃寺跡で星空の観察を実施予定であったが、雨のため展示館ガイダンス棟で上淀廃寺跡の夜空に見える星空についての学習を行った。

事業名		開催日	人数(人)	内容
啓発・情報発信事業	上淀に大蛇現る? — 淀の八朔綱引き見学ツアー — <small>主催:上淀白鳳の丘展示館</small>	9/1(日)	7	現地見学ツアーを開催して、上淀地区に残る民俗文化財の行事に参加する機会を提供した。
	学校へのお出前授業	9/30(金) R2.1/30(木)	93 93	淀江小3年生に「淀江の歴史」の話を行った。 淀江小3年生に「昔の道具」の話を行った。
	公民館へのお出前講座	11/8(月)	15	宇田川公民館「宇田川地域の古墳」を中心にした淀江町の歴史についての話を行った。
	サイノカミさんめぐりin宇田川～パートⅡ～ <small>主催:上淀白鳳の丘展示館</small>	12/15(日)	13	現地見学会を開催して、宇田川地区のサイノカミさんを知る機会を提供した。
	図書等販売など	通年	—	
連携事業	2019年度 とつりの文化遺産魅力発信プロジェクト参加事業 学ぶ・楽しむ淀江・大山の歴史遺産講座 前方後円墳の時代 ①古墳巡り ②講演会・トークプレイス <small>主催:とつりの魅力発信プロジェクト実行委員会・米子市・米子市教育委員会・上淀白鳳の丘展示館</small>	12/8(日)	① 42 ② 83	伯耆古代の丘エリア及びむきばんだ史跡公園エリアに点在する前方後円墳をめぐり、淀江エリアの前方後円墳について松木武彦氏の講演会などを聞く機会を提供した。
	よどえまるごと道草日和参加事業 サイノカミさんめぐりin宇田川 <small>主催:とつりの魅力発信プロジェクト実行委員会・上淀白鳳の丘展示館</small>	12/15(日)	17	現地見学会を開催して、宇田川地区のサイノカミさんを知る機会を提供した。
	伯耆古代の丘公園・上淀白鳳の丘展示館連携事業 古代人になってみよう! 白鳳の丘クイズラリー <small>主催:上淀白鳳の丘展示館、伯耆古代の丘公園</small>	7/20(土) 8/26(日)	17	夏休みの期間中、伯耆古代の丘公園と展示館を紹介するクイズ形式のイベントを行った。
	伯耆古代の丘公園・上淀白鳳の丘展示館連携事業 古代人になってみよう! 古代衣装を着て写真撮影 <small>主催:上淀白鳳の丘展示館、伯耆古代の丘公園</small>	7/20(土) 8/26(月)	16	夏休みの期間中、伯耆古代の丘公園と展示館で古代の衣装を着用する体験イベントを行った。
	寿城連携事業 2016-2018 彼岸花の里俳句大会・彼岸花のある風景フォトコンクール受賞作品展in寿城 <small>協力:寿城</small>	12/27(金) R2.1/31(金)	—	2016-2018までの俳句と写真コンクール入選作品を紹介した。
	淀江ゆめ温泉連携事業 2019 彼岸花の里俳句大会・彼岸花のある風景フォトコンクール応募・受賞作品in淀江ゆめ温泉ロビー展 <small>主催:上淀白鳳の丘展示館・淀江ゆめ温泉</small>	R2.1/30(木) 2/26(水)	—	2019年度に投句された俳句とフォトコンクールに応募された作品を紹介した。
	よどえサイクルカーニバル	9月	—	招待券の発行
	秀麗ウォーク	9月	—	台風のため中止
	むきばんだ祭り	9月	—	台風のため中止
	合計	31年度	5,333	

令和2年度 上淀白鳳の丘展示館自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期など
企画展	<p>古代史の宝庫としての魅力を高めるために、白鳳の里周辺エリアに存する歴史遺産である史跡や民俗などをテーマにした企画展を開催します。</p> <p>① 上淀廃寺シリーズ2 ミニ企画展「仏像片から見た上淀廃寺」</p> <p>② 原 禎幸ダンボールクラフト作品展 ～上淀廃寺を中心にした作品～</p> <p>③ 企画展「山陰本線 淀江駅」(仮称)</p> <p>④ 企画展 淀江支所・彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会連携事業 淀江の四季フォトコンテスト「見つけよう！あなたの好きな淀江！！」応募作品展</p>	<p>① 4月25日(土) ～5月31日(日)</p> <p>② 7月26日(日)～ 8月30日(日)</p> <p>③ 9月6日(土)～ 10月25日(日)</p> <p>④ 令和3年3月以降 (予定)</p>
夏休み体験事業	<p>地域のなかにある歴史や文化を楽しく学ぶことで、次世代を担う子どもたちに郷土の歴史について興味や関心を深めてもらう機会を提供します。</p> <p>① 第1回 祖父母から孫へ伝えたい工作 麦わらの虫かご 第2回 祖父母から孫へ伝えたい工作 麦わらの虫かご</p> <p>② 上淀廃寺跡復元仏像の前で聴く怖い話</p> <p>③ 上淀廃寺跡で夏空の星を楽しもう！</p>	<p>① 8月1日(土)・ 8月2日(日) 10:00～12:00 13:30～15:30</p> <p>② 8月上旬調整中 19:30～</p> <p>③ 8月21日(金) 19:30～</p>
	<p>白鳳の里周辺エリアの魅力アップと来訪者の増加を目的に、彼岸花の植栽や彼岸花まつりなどの「彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会が開催するイベントを事務局として補佐し、行政機関や伯耆古代の丘公園、淀江温浴施設と連携しながら事業の推進に努めます。</p> <p>① 彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会の開催</p> <p>② 彼岸花の植栽 第1回 大和保育園園児・県立白鳳高校生徒 第2回 ボランティア</p>	<p>① 年4～5回</p> <p>② 5月下旬(予定) 6月7日(日)</p>

	<p>③ 淀江支所・彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会連携事業淀江の四季フォトコンテスト作品募集 見つけよう！あなたの好きな淀江!!</p> <p>④ 第6回彼岸花の里俳句大会作品募集</p> <p>⑤ 第6回彼岸花まつり</p> <p>i 夕暮れコンサートほか ii メインイベント マルシェ、缶バッチづくりほか iii 米子市立山陰歴史館・文化ホール連携事業 「因幡の麒麟獅子舞・因幡の傘踊り」</p>	<p>③ 4月20日(月)～ 令和3年1月8日(金)</p> <p>④ 9月中旬</p> <p>⑤ 9月19日(土)～ 9月22日(火・祝)</p> <p>i 9月19日(土) ii 9月20日(日) 10:00～ iii 9月20日(日) 13:30～</p>
<p>とっとりの文化遺産魅力発掘プロジェクト連携事業</p>	<p>隣接する国史跡妻木晩田遺跡との相乗効果を高め、このエリアの魅力アップにつなげることを目的に、むきばんだ史跡公園(県)と連携して、トークプレイスや史跡巡りなどの事業を行います。</p> <p>① 学ぶ・楽しむ 淀江・大山の歴史遺産講座 「前方後円墳の時代ii」(仮称)</p>	<p>11月下旬 ～12月上旬頃</p>
<p>啓発・情報発信事業</p>	<p>淀江町内に在る史跡や民俗、石造物などについて学習しながら現地を巡る歴史講座を開催します。また、「よどえまるごと道草日和」に参加することで、地域の歴史遺産の情報発信を行います。</p> <p>① 第1回歴史講座 観音札所あれこれ—淀江町とその周辺—</p> <p>② 第1回史跡めぐり 三十三番観音札打ち(小波) —米子市淀江町小波区に残る観音札打ち行事—</p> <p>③ 第2回歴史講座 鉄道のまち・よなごの歴史(仮称)</p> <p>④ 第2回史跡めぐり 淀江の街並みを歩く(仮称)</p> <p>⑤ 第3回歴史講座 米子市淀江町大和のサイノカミさん(仮称)</p> <p>⑥ 第3回史跡めぐり サイノカミめぐり in 大和Ⅰ</p> <p>⑦ 第4回史跡めぐり サイノカミさんめぐり in 大和Ⅱ</p> <p>⑧ 第5回史跡めぐり(予定) サイノカミめぐり in 大和Ⅲ</p>	<p>① 4月19日(土)</p> <p>② 5月5日(火・祝)</p> <p>③ 9月13日(日)</p> <p>④ 9月下旬</p> <p>⑤ 10月11日(日)</p> <p>⑥ 10月24日(土)</p> <p>⑦ 11月21日(土)</p> <p>⑧ 12月13日(土) (予定)</p>

館内・周辺史跡 ガイド事業	このエリアの魅力を多くの来訪者に知っていただくために、展示館の館内ガイドや向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡等の史跡ガイドを行います。	通年
出前講座	よどえエリアへの理解と関心を高めてもらうために、専門的な知識を持つ展示館職員が公民館や小・中学校への出前講座を積極的に行います。	随時
資料収集事業	企画展での公開や閲覧、研究資料や刊行物への掲載と幅広く活用することを目的に、「米子市淀江町の昔を伝える古写真」などの収集を行います。	通年
地域内イベント 連携事業	<p>淀江文化センターやサイクリングカーニバル inYODOE、美水の郷秋麗ウオーク、むきばんだまつのイベントと連携して、展示館施設や上淀廃寺跡などの活用と利用促進を図ります。</p> <p>① 米子市淀江文化センター連携事業 「日本建築の美」“神・仏・城” ダンボールクラフト展 ～伯耆から出雲まで 史跡名勝を巡る～</p> <p>② サイクリングカーニバル inYODOE</p> <p>③ 美水の郷秋麗ウオーク・むきばんだ祭り</p>	<p>随時</p> <p>① 4月29日(水・祝) ～5月21日(木)</p> <p>② 9月上旬</p> <p>③ 9月27日(日)</p>
伯耆古代の丘 情報発信事業	<p>淀江温泉施設や伯耆古代の丘公園と連携し、共有のホームページやフェイスブック、インスタグラムなどを活用した情報発信や共有でのポスター、チラシの作成に取組み情報発信の充実に努めます。</p> <p>① 法話を聴いて蓮池で瞑想を！</p> <p>② 淀江ゆめ温泉 ロビー展 2016-2019 彼岸花のある風景フォトコンクール受賞作品展(予定)</p>	<p>随時</p> <p>① 7月上旬</p> <p>② 7月30日(日)～ 9月4日(金) (予定)</p>

平成 31 年度(令和元年度) 事業実施風景



企画展
2019 彼岸花の里俳句大会・彼岸花のある風景
フォトコンクール応募・受賞作品展



学ぶ・楽しむ淀江・大山の歴史遺産講座
前方後円墳の時代 - 伯耆古代周辺のウォーク-



夏休み体験学習
祖母から孫へ伝えたい工作 麦わらの虫かご



学ぶ・楽しむ淀江・大山の歴史遺産講座
前方後円墳の時代 - トークプレイス-



(別紙3)

文起第922号-1

令和元年9月26日

(施設名) 米子市立山陰歴史館
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊 木 隆 司



平成30年度「米子市立山陰歴史館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市立山陰歴史館
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日～令和3年3月31日(8年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

協定書及び事業計画書の水準を遵守し、施設の管理・運営を適切に行っている。

特に、利用促進に関する業務では、前年度から引き続き、美術館と連携した企画展割引券の発行や米子城に関する展示、明治150年米子など市民が興味を持ちやすいテーマで企画展を実施するなどの工夫が見られ、施設利用者数も前年度を上回っていることは高く評価できる。

今後も更なる取り組みを行うことで、一層の利用者数の増加が図られることに期待したい。

【第三者評価】

① 施設について

- ・適正
- ・事務室と資料室(図書収蔵室)の連絡改善。
- ・来客応接、資料を点検するスペースが無いのは残念。
- ・内部のいたみが酷く、なんとか改修をお願いしたい。
- ・旧庁舎を転用しての施設であり、展示及び資料保存に適さない面があるが、工夫と努力によって来業を遂行されていることに敬意の念をいタク。
- ・風格のある建物ですが、雰囲気が暗い。
- ・利用者数の増加に向け、さまざまな形での情報提供がなされ、工夫を凝らしている状況がよくわかる。
- ・外観はきれいだが、館内に入ると暗く、施設が老朽化しているのが瞭然で残念な印象が強い。HPで注意を呼びかけているが、館内に冷房設備がないのは観光で来られた方にはマイナスだと思われる。給水設備やお手洗いのリニューアルなども含め、観光スポットの一つになるような改善が必要。

② 管理について

- ・妥当と考えます。
- ・救急救命・防災の訓練研修など、資料、能力の向上を図られていることは好ましい。
- ・古い建物を精一杯管理しておられる。
- ・規定通り、適切な管理がなされ、館内外の清掃も行き届いている。殊に、展示物及び保存管理資料、或いは、来館者に対して、夏の高温化に対す対応がなされたことに賞讃する。
- ・協定書に基づき、日常の施設の設備点検や修繕業務等適切に行われている。
- ・歴史的な背景もある、米子市にとって重要な建造物の歴史館、築後の日数も相当数経っており日々の清掃維持・保守点検・保安などの業務が協定書に基づき、適切に管理されていて良い。
- ・展示されている物についてはよいと思うが、そうでない所蔵品の管理・保存が適切に行われているか、分らない。館所蔵の物品・資料の目録が、整理された形であるのか、またそれを館外の利用者がどのような形で見ることができるのか、明示してほしい。

③事業について

- ・米子市史の販売促進、PR。
- ・米子市史の利用・活用法の検討。
- ・米子城下町の復元（現地図と対比）。
- ・事業収入は増収の数字、継続へ。
- ・いろいろ工夫して努力しておられるのがわかる。
- ・「大山開山1300年祭」等時期に即応したり、郷土の歴史的事項を主題として、企画展を開催し、郷土の歴史への興味を高めるなど、入館者増にも努力されている。又、広報活動にも努力されていることが把握できる。
- ・自主事業のほか、他の公的施設と連携を図ったり、急な要望に応えるなど臨機応変に対応されていてよい。
- ・市民の要望を取り入れた展示や、工夫を凝らした企画展など良質の情報や展示を市民・来館者にわかりやすく資料提供され、素晴らしい。
- ・常設展でも充実した内容の展示品・資料があり、ぜひ県外の人にも多く見てほしいと思う。受付で扱っていた米子城資料も非常に学術的な価値のあるもので、多くの人に活用してほしい。ただ、手書きでは信頼度が低くなるので、活字化すべきである。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

今後も適切な施設管理に努め、関係機関や他施設と連携協力のもと引き続き幅広い市民のニーズを捉えながら企画展、ソフト事業等の内容を検討することで、入館者数がさらに増加することに期待したい。

【第三者評価】

- ・外国人増加に対する対応を考える。
- ・他館とも運営委員の活用を検討する。

・現在一般に公開している展示物は、所蔵品のごく一部に過ぎない。資料整理を進め、展示内容を豊かにしていただきたい。願わくは、米子の「古代」「中世」「近世」「近代」「民俗」を、部屋毎に見ることができるような状態になることが望ましい。

・要望により、夏休み期間に「戦争資料の展示」を実施されたとのことだが、太平洋戦争終結から74年が経過する現在、この展示の取組みは続けてほしいと考える。

・県外客も多数利用されています。やはり、情報網がインターネットのため、インターネットの充実の程。

・アンケートの意見や感想を検証し、次の事業につなげて欲しい。



(別紙3)

文起第922号-1

令和元年9月26日

(施設名) 米子市福市考古資料館
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘 一 郎 様

米子市長 伊 木 隆 司



平成30年度「米子市福市考古資料館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市福市考古資料館
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(3年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

協定書及び事業計画書の基準を遵守し、施設の管理・運営を適切に行っている。中でも、施設の維持管理に関する業務は優れた水準であり施設の修繕を行い良好な状態を維持しようと努めている点は高く評価できる。

また、今年度の施設利用者数が前年度を大きく上回っている点も評価できる。今後も様々な取組みを実施し、更なる水準の向上を期待したい。

【第三者評価】

① 施設について

- ・全般に妥当と考えます。
- ・明らかに老朽化しているが、現在の経営状況での改善は困難か。
- ・展示室が一室のため、淋しい感がする。
- ・施設の老朽化が進んでいる。
- ・ていねいに維持されており、良好な状態で利用や展示等が行われていてよい。
- ・施設が古いのは仕方がないが、冷房設備はあった方がよい。扇風機は置いてあるが、あまり効果がない、せっかく良い展示をしているので、ゆっくり落ち着いて来館者が過ごせるようにということを第一に考えるべきである。
- ・入館者の増加、今後にかけて下さい。

② 管理について

- ・全般に妥当と考えます。

- ・古い施設をよく維持しておられる。
- ・良好
- ・協定書に基づき、日常の施設の設備点検や修繕業務等適切に行われている。
- ・清掃業務、安全点検もきちんとして行われていて、施設を大切に維持管理されている状況が良い。
- ・展示品の管理はよいと思います。古代の貴重な発掘資料を分かりやすい解説で見ることができ、勉強になります。
- ・日常清掃業務や安全衛生点検など維持管理に努めている。

③ 事業について

- ・全般に妥当と考えます。
- ・近隣の青木遺跡についてもその概要がわかるような展示が工夫できないか。
- ・整然とした展示がなされているが、展示スペースが狭いため、説明が不十分な面もある。
来館者に説明者が居れば非常に良い。
- ・出前講座に依り、学習者を多くしていることは、非常に良い。
- ・事業計画に沿って適切に実施されている。
- ・工夫を凝らした事業を考えて、展開されている。職員の努力が伝わってくる。
- ・企画展や特別展示などの機会が年数回ほしい。
- ・多彩な事業を展開されているのは好ましい。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

引き続き適切な施設管理に努め、今後も関係機関や他施設と連携協力のもと展示、ソフト事業等の内容を検討することで、入館者数がさらに増加することに期待したい。

【第三者評価】

- ・日常の施設の維持管理が適正で、良好な状態で施設利用が行われているので、老朽化の進んでいる箇所
の修繕をされたらよりよい環境につながると思う。
- ・展示の工夫に関して、当時の人々の生活の様子や生業が実感できるような展示があると、子供たちにも
わかりやすいと思います。
- ・HPで「利用案内」「施設案内」「行事案内」をクリックしても「Not Found このページは存在しません」
と表示されました。たまたま不具合が生じたのでしょうか。
- ・多岐に渡る事業、これからも継続して下さい。



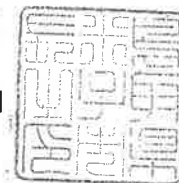
(別紙3)

文起第922号-1

令和元年9月26日

(施設名) 米子市埋蔵文化財センター
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊 木 隆 司



平成30年度「米子市埋蔵文化財センター」指定管理者業務評価書

施設名	米子市埋蔵文化財センター
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(3年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

協定書及び事業計画書の水準を遵守し、施設の適切な運営・維持管理を実施している。特に、利用促進に関する分野では、いろいろなメニューのソフト事業を実施し学校・公民館に対する利用案内を行い、施設利用者は減少したが、共催・連携事業の参加者が増加したことは評価したい。今後も現在の水準に加えこのほかの項目についても様々な取り組みを実施し、更なる水準の向上を期待したい。

【第三者評価】

① 施設について

- ・妥当と考えます。
- ・基本的に観光施設ではないので、現状で良いのではないか。
- ・旧学校舎を上手に活用している。
- ・施設利用者数が大幅に減少しているが、共催・連携事業の参加者数が増加している。施設利用者の増加につながればよい。
- ・建物内外の環境整備に気を配り、利用者の大幅な増加も認められ、日々の努力が感じられる。
- ・場所が分りづらく、初めて行く人には、案内の表示も見つけにくいと思われる。展示室に冷房がなく普段は電気も点いていない。展示を見に来た人がいると職員の方が点灯してくれるが、あまり来訪者がいないのかと思うと残念である。展示されている出土品は貴重なもので、展示の解説も分かりやすく興味深いだけに、もっと、来訪者が増えて欲しいと思う。
- ・アンケートから見えるのは、利用者が10代、・・・ターゲットは、マニアが増えることを期待します。

② 管理について

- ・妥当と考えます。
- ・良好。
- ・協定書に基づき、日常の施設の設備点検や修繕業務等適切に行われている。
- ・基準に基づく修繕業務や協定書の順守及び日々の適切な維持管理が認められる。清掃や庭木の維持管理も適切に行われ、良好な施設内外の環境が保たれているようで良い。
- ・適切に管理されていると感じた。
- ・適正（前庭の清掃強化も努力がみてとれる）。

③ 事業について

- ・妥当と考えます。
- ・展示スペースをもっと増やされてはどうか。見学者が少ないが、それなりの知識を持った方が来られると思うので、より多くのものが目に触れるようにした方が親切なのでは。
- ・展示室をもう一室欲しい。
- ・現在発掘事業がないので、一般住民の関心を集めには大変であるが、企画及び連携事業を展開し参加利用者を多くし、収入増にもつないでいる。
- ・事業計画に沿って適切に実施されている。
- ・日々の利用促進のための情報発信に工夫と努力が見られる。
- ・「センターだより」の内容が充実していて面白い。
- ・遺跡の発掘、調査、出土品の分析、研究、市内外の研究者、施設との交流、地域貢献など、それぞれの分野で事業を推進している点は高く評価できる。
- ・共催・連携事業参加の増等で事業参加者の増員がみられ、好ましい。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

引き続き適切な施設管理に努め、今後も利用者の一層の増加につながる展示事業や様々なソフト事業が継続的に実施されることに期待したい。

【第三者評価】

- ・福市は法勝寺、日野川に囲まれた丘陵地、これを総合したガイドや調査が面白いと思います。
- ・国道沿いに「埋蔵文化財センター」の施設への順路案内（道標）が欲しい。
- ・米子市の埋蔵文化を扱う重要な部署でもある。現在も行われていることだが、学校との連携を深める工夫を望みます。授業時間を確保しようとしている学校との連携は難しいかもしれないが、夏休みの自由研究にも利用してもらえるよう小中学校との一層の連携と、体験し研修・検証できる講座の開設を望みます。

淀起第186号-1
令和元年9月25日

上淀白鳳の丘展示館
株式会社 白 鳳
代表取締役 城 内 正 行 様

米子市長 伊 木 隆 司



平成30年度「上淀白鳳の丘展示館」指定管理者業務評価書

施設名	上淀白鳳の丘展示館
施設所管課	総合政策部 淀江振興課
指定管理者名	(株) 白 鳳
指定期間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (3年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

企画展や史跡活用イベント、上淀地区の他の施設との連携イベントなど自主事業に力を入れ、イベント参加者は増えてきていることは評価する。しかし、それが展示館の入館者数の増加にはつながっていないとは言い難いため、もう少し工夫を凝らしてほしい。

【第三者評価】

適切に運営されており、向上に向けた努力が見られる。また、館内の清掃や展示品の管理などは行き届いている。

テーマを設定した展示活動を考えたらどうか。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

利用客の関心を引くような企画等を実施し、引き続き集客に努めてください。

【第三者評価】

入館者減の対応を必要とする。広報活動の不足が思われる。ホームページが見つらいので改善を要す。当時の人々にとってどのような存在であったか分かるような研究とそれを反映した展示を望む。